

# 環境経営レポート

第41期（2023年9月～2024年8月）



2024年11月25日発行

芝田重機株式会社

## 目 次

1.組織の概要	.....	P 1・P 2
2.エコアクション21環境経営システム組織図	.....	P 3
3.環境経営方針	.....	P 4
4.環境経営目標	.....	P 5
5.環境経営計画	.....	P 6
6.環境経営目標の実績・取組結果並びに実績評価	.....	P 7・P 8・P 9
7.環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画	.....	P 10
8.地域社会への活動	.....	P 11・P 12
9.環境関連法規への違反・訴訟などの有無	.....	P 13
10.代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	P 14

# 1. 組織の概要

会社名及び代表者名 芝田重機有限会社 代表取締役 芝田 高寿 資本金 500万円 設立 昭和59年 5月2日

- 本社 〒421-0502 牧之原市白井3-1  
TEL:0548-54-1236 FAX:0548-54-1467
  - 産業廃棄物処分場 〒421-0514 牧之原市菅ヶ谷3206-9  
TEL:FAX:0548-54-2288
  - 山砂利採取場 〒421-0503 牧之原市蛭ヶ谷456-1  
TEL:0548-54-0620 FAX:0548-23-3098
- (●は、弊社のエコアクション21における対象範囲(認証・登録範囲)を示します。)

事業活動 土木工事、山砂利・山土販売、一般貨物自動車運送事業

## 産業廃棄物処理業(収集運搬・中間処理・最終処分)

活動規模(単位)	第38期	第39期	第40期	第41期
	2020.9～2021.8	2021.9～2022.8	2022.9～2023.8	2023.9～2024.8
売上高(百万円)	543	698	604	587
従業員数(人)	20	22	26	26

## 土木工事業

建設業許可	有効年月日	静岡県知事許可(般-19)第21664号 土木工 とび・土工 石 管 舗装 浚渫 造園 水道施設 解体の工事業
	令和4年8月20日 ～令和9年8月19日	

## 一般貨物自動車運送事業

一般貨物自動車運送事業許可	中運自貨第96号
---------------	----------

貨物自動車運送事業実績報告書	2020年4月1日～ 2021年3月31日	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
	79,680 t	97,800 t	119,160 t	107,460 t

## 産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業許可	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の区分
運搬業許可	第02201032204号	平成2年8月8日	令和2年8月8日 ～令和7年8月7日	収集運搬 (積替え及び保管行為を除く)

産業廃棄物の種類 がれき類、廃プラスチック、金属くず  
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、汚泥、木くず

運搬車量一覧	施設名	型式、寸法	自動車登録番号	規模、能力(積載量)	備考
	三菱	ダンプ		静岡130あ5601	最大積載量9,800kg
三菱	ダンプ		静岡130あ5602	最大積載量8,500kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5603	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5604	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5605	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5606	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5607	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5608	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5609	最大積載量9,800kg	〃
三菱	ダンプ		静岡130あ5610	最大積載量9,800kg	〃

産業廃棄物収集運搬実績 (産業廃棄物運搬実績報告書による)	2020年4月1日～ 2021年3月31日	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
	6,693 t	15,267 t	22,852 t	14,410 t

産業廃棄物処分量

産業廃棄物処分量許可		許可番号	許可年月日	有効年月日	許可品目・処理能力	
事業の範囲	中間処分 (破砕)	第2241032204号	令和2年8月8日	令和7年8月7日	がれき類・・・176.0t/日	
	最終処分 (埋立)	第2241032204号	平成2年8月8日	令和7年8月7日	がれき類、廃プラスチック、金属くず ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
安定型最終処分場		許可容量 158,037m <sup>3</sup>	埋立地面積 14,708m <sup>2</sup>	残余量 68,354m <sup>3</sup>	(令和6年3月31日現在)	
産業廃棄物処分実績 (産業廃棄物処理実績報告書による)			2020年4月1日～ 2021年3月31日	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
中間処分(破砕) (コンクリートガラ・アスファルトガラ)			16,697 t	31,443 t	36,533 t	20,558 t
最終処分(埋立) (がれき類、廃プラ、ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず)			12,194 t	10,345 t	7,447 t	3,003 t
中間処理施設概要		機器名	SET	仕様	処理量	
1次破砕機		ジョークラッシャー	40m/m	投入塊400m/m以下	20T/H	
ふるい振動機		フルイ装置	30m/m	40mm,60mm	20T/H	
2次破砕機		クラッシャー	17m/m	投入塊50m/m以下	17T/H	
重機		パワーショベル	*	型式 ZX210K-B 日立	0.7m <sup>3</sup>	
		パワーショベル	*	型式 PC138 コマツ	0.45m <sup>3</sup>	
		パワーショベル	*	型式 ZX120 日立	0.4m <sup>3</sup>	
		タイヤショベル	*	型式 WA320 コマツ	2.7m <sup>3</sup>	

処理工程図

山砂利採取場

許可内容	登録年月日	昭和60年 9月10日		
	登録番号	静岡県登録 712 号		
	採取数量	山砂利 412,900m <sup>3</sup> 面積 114555.28m <sup>2</sup>		
	採取の期間	令和5年10月29日から令和8年10月28日まで		
山砂利出荷実績	第38期 2020.9～2021.8	第39期 2021.9～2022.8	第40期 2022.9～2023.8	第41期 2023.9～2024.8
	20,506 m <sup>3</sup>	59,888 m <sup>3</sup>	98,208 m <sup>3</sup>	55,421 m <sup>3</sup>

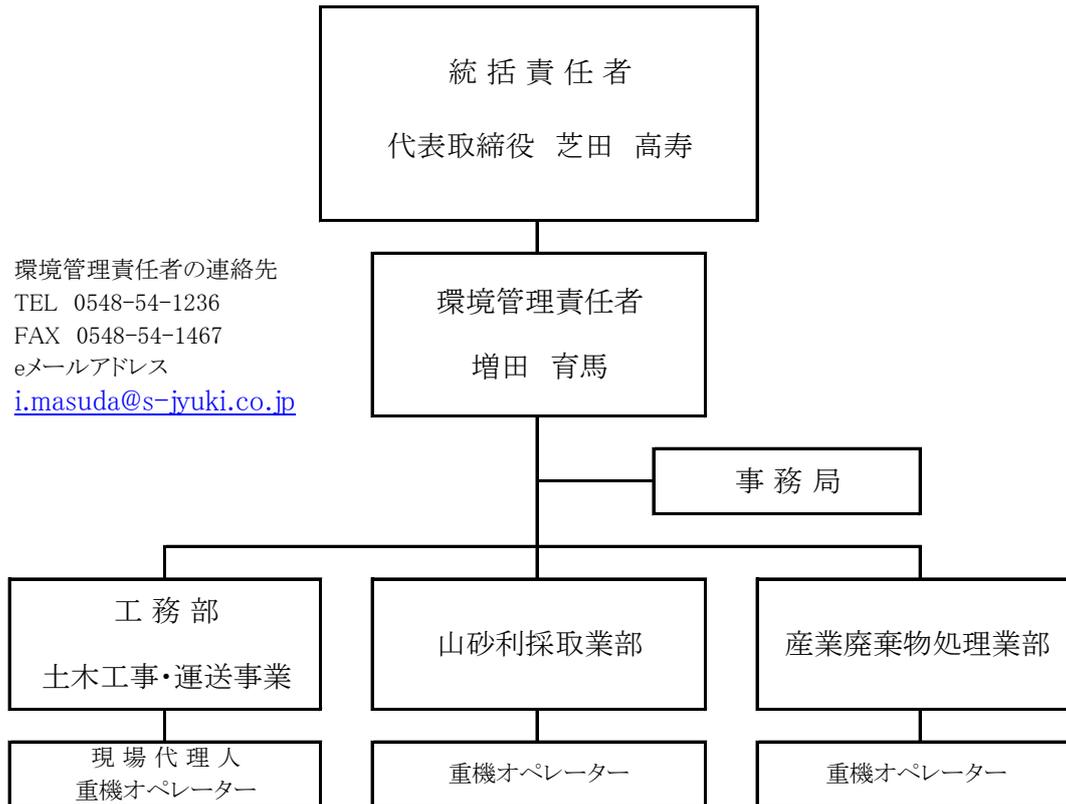


産業廃棄物処理場の風景



山砂利採取場の風景

## 2. エコアクション21環境経営システム組織図



- |         |  |
|---------|--|
| 統括責任者   | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境方針の制定</li> <li>② 各自の役割、責任及び権限を定め、全社員に周知</li> <li>③ 環境システムに必要な資源の用意</li> <li>④ 環境システムの全般的な見直し及び必要な指示</li> <li>⑤ 環境活動レポートの承認</li> </ul> |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境活動の推進</li> <li>② 環境目標と環境計画の作成と社員への周知</li> <li>③ 環境教育及び訓練の計画と実施</li> <li>④ 環境活動レポートの作成と社員への報告</li> <li>⑤ 環境に対する苦情の対応</li> </ul>        |
| 各部署責任者  | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境計画の実施</li> <li>② 月別部署のデータ他の集計</li> <li>③ 部署社員の教育・指導</li> <li>④ 事務用品等事務所内の管理</li> <li>⑤ 部署の環境整備</li> </ul>                             |
| 各部署社員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境方針の理解</li> <li>② 環境活動計画への取り組み</li> <li>③ 環境関連法規の遵守</li> </ul>   |

### 3. 環境経営方針

#### 1. 環境理念

私たちは、産業廃棄物処理事業と山砂利採取事業を含み、主体である建設業社としての事業活動を通じて、環境負荷の低減を目指して、自然環境を守る活動を推進します。新しいI.T.技術の導入を積極的に取入れ、作業の効率化を進め安全・安心して頂ける工事・環境づくりを目指します。

#### 2. 環境経営方針

1. 当社の事業活動が与える環境影響の中で次の項目を環境管理重点項目として推進します。

- 1) 車両系建設機械等から、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 2) 受託した廃棄物のリサイクルを積極的に取組みます。
- 3) 自社から排出する廃棄物の削減と再資源化に取り組めます。
- 4) 節水(排水量の削減)に努めます。
- 5) 事務用品のグリーン購入の推進に取り組めます。
- 6) 自らが施工管理する工事は、環境に配慮した機械を使用し施工します。

2. 弊社にかかわる環境関連法規等を必ず守ります。

3. この方針は掲示し、全社員に周知させ、足並みを揃えて環境経営の継続的な改善活動に取り組む環境保全と汚染の予防に努め、美しい地球を守ります。

制定 平成 18年 10月 10日

改訂 平成 28年 8月 7日

芝田重機 有限会社

代表取締役 芝田高寿

## 4. 環境経営目標

### \* 基準値の設定

- ・ 過去3期分の実績値化した平均値を基準値に設定しました。
- ・ 原単位評価は、売上高当たりの数値としました。(原単位評価＝実績値／年間売上:百万円)

項目	単位	第38期	第39期	第40期	基準値
		2020.9～2021.8	2021.9～2022.8	2022.9～2023.8	
		543 百万円	698 百万円	604 百万円	
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,008,659	1,068,706	1,062,198	1,046,521
	原単位評価	1,858	1,531	1,759	1,716
電力	kwh	28,868	32,693	35,873	32,478
	原単位評価	53	47	59	53
軽油	ℓ	375,629	397,880	394,042	389,184
	原単位評価	692	570	652	638
ガソリン	ℓ	11,691	12,571	13,550	12,604
	原単位評価	22	18	22	21
水使用量	m <sup>3</sup>	513 (20人)	496 (22人)	530 (24人)	513
	ℓ/1人当たり	26	23	22	23
一般廃棄物の排出量	kg	670 (20人)	855 (22人)	1,180 (24人)	902
	kg/1人当たり	34	39	49	41

### \* 第41期・42期・43期の目標値の設定

- ・ 目標値は基準値より毎年1%ずつ削減する事を想定しました。
- ・ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の直近3か年の平均値0.429kg-CO<sub>2</sub>/kwhとしました。
- ・ 原単位評価は、売上高当たりの数値としました。(原単位評価＝実績値／年間売上:百万円)
- ・ 今後、42期43期については、問題があれば目標値、設定方法を見直すこととします。

項目	単位	基準値	第41期目標	第42期目標	第43期目標
			2023.9～2024.8	2024.9～2025.8	2025.9～2026.8
			削減目標 1%削減	削減目標 2%削減	削減目標 3%削減
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,046,521	1,036,056	1,025,591	1,015,125
	原単位評価	1,716	1,699	1,681	1,664
電力	kwh	32,478	32,153	31,828	31,504
	原単位評価	53	53	52	52
軽油	ℓ	389,184	385,292	381,400	377,508
	原単位評価	638	632	625	619
ガソリン	ℓ	12,604	12,478	12,352	12,226
	原単位評価	21	20	20	20
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	513	508	503	498
	m <sup>3</sup> /1人当たり	23	23	23	23
一般廃棄物の排出量削減	kg	902	893	884	875
	kg/1人当たり	41	40	40	39
産業廃棄物の排出量削減	有価物として、廃品物の再資源化に努める。				
受託廃棄物の再資源化	中間処分として破砕処理した再生砕石の品質を向上維持する為に、産廃契約品以外の混入を無くす。				
グリーン購入の推進	事務用品の購入については、数値目標は定めず対象品目を選定して購入する。				
環境配慮の推進	現場周辺環境に配慮した施工法を提案及び実施する。				
地域(社会貢献)活動	行政の防災訓練、環境保全活動に進んで参加し、周辺住民とのコミュニケーションを大切にする。				
10tダンプの負荷状況の把握	自社の環境負荷の大きな要素である軽油の削減について主に取組みます。なお、10tダンプの軽油使用料、走行距離、燃費量について調べます。				

## 5. 環境経営計画

第41期 2023年9月～2024年8月

目 標	取 組 内 容	責 任 者	期 間						備 考	
			9～10	11～12	1～2	3～4	5～6	7～8		
二酸化炭素排出量の削減	電力量の削減 不在時には、照明、空調、OA機器の電源をOFFにする。 エアコンの設定温度を省エネ温度に設定する。 エアコン、蛍光灯の定期的な清掃をする。 照明機器等はLEDに、OA機器も省エネタイプに移行。 毎月の電力使用料をチェックする。	各部長	○	○	○	○	○	○	注意喚起のシールを掲示する。必要に応じて朝礼時等で注意喚起する。 購入の検討 電力使用料の把握	
			○	○	○	○	○	○		
		総務部長	必要に応じ対処する							○
			○	○	○	○	○	○		
	軽油、ガソリンの燃料削減 エコドライブを実施し、安全運転を徹底する。不必要なアイドリングの禁止、過積載の防止を徹底する。 重機・車両の始業点検、定期点検を実施する。 重機・車両の効率の良い利用計画を立てる。 重機・車両ごとの使用燃料を月毎にチェックする。	各部長	○	○	○	○	○	○	注意喚起のシールを掲示して安全・エコ運転を喚起をする。 重機・車両の維持管理に努める。 燃料消費量を把握する	
			○	○	○	○	○	○		
		総務部長	○	○	○	○	○	○		
水使用量の削減 洗車時は、水道水の出しっぱなしをしない。 水漏れの点検、水漏れ等の修繕を徹底する。 場内、走行路の散水には、池の水を使う。 水道使用量を毎月チェックする。	各部長	○	○	○	○	○	○	日々注意して、漏水時にはすぐに止水し、業者に修繕を依頼する。 使用量を把握する。		
		総務部長	○	○	○	○	○		○	
一般廃棄物の排出量削減 作業日報は、コピー用紙の裏面を利用する。 不要ファックスを印刷しない。 各自のお弁当、水筒を推奨する。 ゴミの分別を徹底する。 段ボール、新聞紙、雑誌等は廃品回収か、リサイクル業者に持ち込む。	総務部長	○	○	○	○	○	○	日常で繰り返し使えるものを意識して増やす。 分別をし再資源化の促進し、廃品リサイクル業者に持ち込む。		
		○	○	○	○	○	○			
産業廃棄物の排出量削減 廃油、廃バッテリー、鉄くずは、有価物として引き渡す。 材料搬入時のパレットは、回収をして頂く。 山砂利採取場から出る、廃土枝葉等は埋め立て等に必要とされる地元の方に提供する。	工務部長	○	○	○	○	○	○	再資源化を促進する。		
	山砂利採取場	必要に応じ対処する						地域への貢献する。		
受託廃棄物の再資源化 中間処理は、産廃契約を確認し再生砕石として販売できるコンガラ、アスガラだけを受入れる。 販売する再生砕石の品質を向上させる。	産廃処理場	○	○	○	○	○	○	契約品目以外の搬入が無いよう搬入業者に協力を依頼する。		
		○	○	○	○	○	○			
グリーン購入の推進 グリーンマークの表示された物の購入をする。 出来るだけ再生原料を使用している製品を購入する。	総務部長	必要に応じ対処する						再生品を使う。		
環境配慮の推進 建設機械は、低燃費・CO <sub>2</sub> 排出量の少ない機種を使う。 建設機械は、無騒音・無振動の機種を使う。 機材(重機)の購入については、最新の排気ガス規制に適合する機材の購入を行う。 産業廃棄物処理場の地下水について、決められた検査項目を1回/年測定・記録する。 産業廃棄物処理場の浸透水について、BODを1回/月測定・記録する	各部長	○	○	○	○	○	○	現場で最適な重機の選定をする。 法に定められた機材(重機)の購入を推奨する。		
		○	○	○	○	○	○			
	産廃処理場	必要に応じ対処する						○		
		○	○	○	○	○	○			
地域(社会貢献)活動 廃棄物協会・土木事務所等の防災訓練に参加する。 地元建設業団体等の環境保全活動に参加する。 「ふじのくに森の町内会」に協力する。 産廃場近隣の住民との懇親会を実施する。(忘年会)	総務部長	○	○	○	○	○	○	防災訓練、環境保全活動及び周辺住民とのコミュニケーションを行う。		
		○	○	○	○	○	○			
		必要に応じ対処する							○	
		○	○	○	○	○	○			

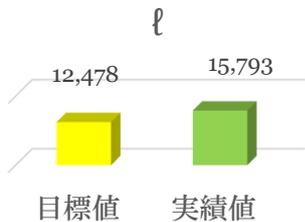
## 6.環境経営目標の実績・取組結果並びに実績評価

過去3年間と今期(第40期)の売上高推移



項目	単位	第41期目標値	第41期実績値	実績率	原単位での実績評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,036,056	1,176,736	14% 増	×	目標を達成できなかった。
	原単位評価	1,699	2,005	18% 増		
				原単位での実績評価では18%増加し、CO <sub>2</sub> の排出量も14%増加している。原単位評価するに、売上高が少なかった事が影響していると思われます。  今後もCO <sub>2</sub> 削減に対する意識を持ち続け削減を目指します。		
購入電力	kwh	32,153	35,056	9% 増	×	目標を達成できなかった。
	原単位評価	53	60	13% 増		
				エアコンの使用頻度が増えたことや、工場での溶接などの作業が多かったことが使用量が増加した要因だと思います。  不要な蛍光灯の電源はOFFにするなど、節電に対する意識を常に努めます。		
軽油	ℓ	385,292	435,933	13% 増	×	目標を達成できなかった。
	原単位評価	638	743	16% 増		
				仕事量は増えたが、年間走行距離と軽油使用量が比例して増え、今期への収益に繋がらず、来期に期待したい。  ドライバーのエコ安全運転の実施と新車への入れ替えなどにより、燃費率が向上した。継続してエコ安全運転に努めます。		

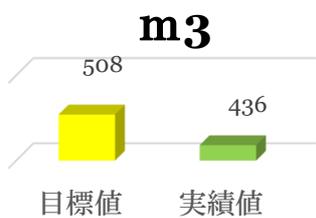
項目	単位	第41期目標値	第41期実績値	実績率	原単位での実績評価	
ガソリン	ℓ	12,478	15,793	27% 増	×	目標を達成できなかった。
	原単位評価	21	27	28% 増		



営業車、現場への車の増車により、燃料使用料が増加したと思われる。

駐車中でのアイドリングストップを徹底して、来期も「エコ安全ドライブ」に取り組めます。

水道水使用量	m3	508	436	-14% 減	○	原単位当たりの目標を達成できた。
	m3/1人当たり	23	17	-27% 減		



水道水の使用量は、無駄に使用している様子はなく、今後も継続して節水に努力します。

一般廃棄物	kg	893	970	9% 増	×	目標を達成できなかった。
	kg/1人当たり	34	37	9% 増		



ダンボール新聞紙などはリサイクル業者に持込むなど必ず分別して処理している。リサイクル出来ない不要なゴミは、事業系廃棄物として市の焼却場に持込み適正に処理している。

使用済みコピー紙の裏面使用はかなり徹底してきた。今後も、排出量削減に努めます。

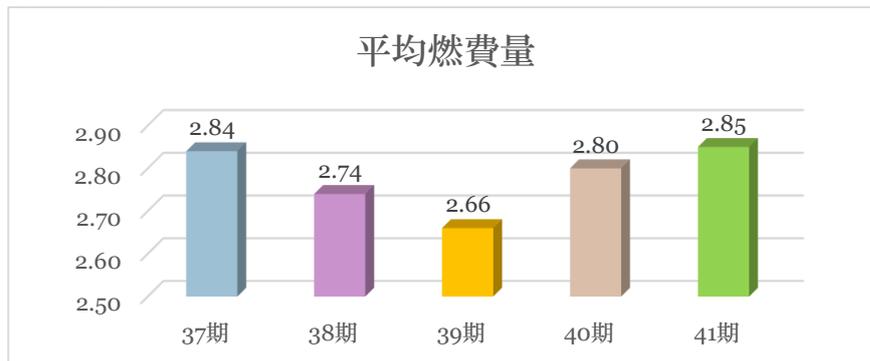
項目	取組みと実績評価
産業廃棄物の排出量削減	自社から出る廃棄物を有価物として再生資源材料としてに処分することに努力できた。
受託廃棄物の再資源化	搬入業者には、木屑等混入させないように協力して頂き、再生砕石の品質を向上することが出来た。
グリーン購入の推進	進んで対象品目を購入した。
環境配慮の推進	現場周辺環境に配慮した施工法を提案及び実施し、地元住民からの苦情・要望等も無かった。
地域(社会貢献)活動	行政の防災訓練・所属団体の環境保全活動に参加した。

## 10tダンプの負荷状況の比較

自社の環境負荷の大きな要素である軽油の削減について取組みます。  
 なお、10tダンプの軽油使用料、走行距離、燃費量について調べました。

車両の燃料削減	第36期 2018.9～2019.8	第37期 2019.9～2020.8	第38期 2020.9～2021.8	第39期 2021.9～2022.8	第40期 2022.9～2023.8	第41期 2023.9～2024.8
10tダンプの軽油使用量 ℓ	96,991	96,919	104,210	126,290	129,382	151,068
10tダンプの走行距離 km	262,046	274,806	285,254	336,126	361,792	430,433
10tダンプの平均燃費量 km/ℓ	2.70	2.84	2.74	2.66	2.80	2.85
10tダンプ保有台数 台	6.50	6.70	7.25	7.66	8.17	8.25

10tダンプの年間の全ての車両の軽油使用量と走行距離を合計した数字です。平均燃費量の変化をグラフで表してみました。



各車両の燃費量を調査してドライバーに報告し、燃料消費の削減に協力していただいています。駐車中でのアイドリングストップを実行するなど、エコ安全運転に取り組んでいることや、新車の導入など車両の入れ替えを行った事で燃費が向上したと思われます。各現場の状況や、仕事内容により燃料の使用量が変わりますが、40期、41期のような良い状態を維持できるよう燃費の向上を目指して日々エコ安全ドライブに取り組めます。

社内教育実施風景 社内教育として、メーカーより整備技術者を講師として、車両の始業点検の方法、運転技術の方法等指導して頂きました。



点検整備個所の確認



ホイールナットの点検方法

## 7.環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

第41期 2023年9月～2024年8月

環境目標	取組活動	評価	次年度への取組み		
二酸化炭素排出量の削減	電力量の削減	不在時には、照明、空調、OA機器の電源をOFFにする。	○	年々夏場の気温が上昇し、エアコンの温度設定は無理のない範囲で設定した。 今後とも、節電に努める。	
		エアコンの設定温度を省エネ温度にする。	△		
		エアコン、蛍光灯の定期的な清掃をする。	○		
		照明機器、OA機器も省エネタイプに移行する。	○		
		毎月の電力使用料をチェックする。	○		
	軽油、ガソリンの燃料削減	エコドライブを実施し、安全運転を徹底する。	○		全体的なダンプの燃費量が毎年向上している。 ガソリン車の増車により、ガソリン使用量が増加した。 エコ安全ドライブを継続して行う。
		不必要なアイドリングの禁止	○		
		過積載の防止を徹底する。	○		
		重機・車両の始業点検、定期点検を実施する。	○		
		重機・車両の効率の良い利用計画を立てる。	○		
重機・車両ごとの使用燃料を毎月チェックする。	○				
水使用量の削減	洗車時は、水道水の出しっぱなしをしない。	○	洗車時には、ストッパー付きのホースを使うなど節水には、充分注意をしている。 漏水等、異常は有りませんでした。 今後とも、節水に努める。		
	水漏れの点検、水漏れ等の修繕を徹底する。	○			
	場内、走行路の散水には、調整池の水を使う。	○			
	水道使用量を毎月チェックする。	○			
一般廃棄物の排出量削減	コピー用紙の裏面使用する。	○	社員の方々にお弁当水筒等を使っていたいただき、ゴミ削減の意識を高めていきたい。 分別を徹底し、廃棄物を減らす努力と、廃品の再資源化が出来ている。今後も継続して実施する。		
	不要ファックスを印刷しない。	○			
	各自のお弁当、水筒を推奨する。	○			
	ゴミの分別を徹底する。	○			
	段ボール、新聞紙、雑誌等は廃品回収か、リサイクル業者に持ち込む。	○			
産業廃棄物の排出量削減	廃油、廃バッテリー、鉄くずは、有価物として引き渡す。	○	廃品物の有価物としての活用をしている。 廃棄物の有価物としての有効利用ができる情報を多く集める。		
	材料搬入時のパレットは、回収をして頂く。	○			
	山砂利採取場から出る、廃土枝葉等は埋め立て等に必要とされる地元の方に提供する。	○			
受託廃棄物の再資源化	中間処理は、産廃契約を確認し再生砕石として販売できるコンガラ、アスガラだけを受入れる。	○	木くず等の混入が減少した。 契約品目以外の搬入が無いよう搬入業社に協力を依頼をする。		
	販売する再生砕石の品質を向上させる。	○			
グリーン購入の推進	グリーンマークの表示された物の購入をする。	○	対象品目を購入している。 来期もグリーン品目を調査し、購入に努める。		
	出来るだけ再生原料を使用している製品を購入する。	○			
環境配慮の推進	建設機械は、低燃費・CO <sub>2</sub> 排出量の少ない機種を使う。	○	特定自主検査を実施し、各現場での適正な機種の選定を確実に行っている。 産業廃棄物処理場の地下水、浸透水について検査を実施し異常なく、環境に影響を及ぼすことなく管理出来ている。 今後とも維持管理を徹底する。		
	建設機械は、無騒音・無振動の機種を使う。	○			
	機材(重機)の購入については、最新の排気ガス規制に適合する機材の購入を行う。	○			
	産業廃棄物処理場の地下水について、決められた検査項目を1回/年測定・記録する。	○			
	産業廃棄物処理場の浸透水について、BODを1回/月測定・記録する	○			
地域(社会貢献)活動	廃棄物協会・土木事務所等の防災訓練に参加する。	○	全ての訓練、活動に参加できました。 地元の方と、友好的な関係を維持していきたい。		
	地元建設業団体等の環境保全活動に参加する。	○			
	「ふじのくに森の町内会」に参加する。	○			
	産廃場近隣の住民との懇親会を実施する。(忘年会)	△			

評価判定:○良くできた △まあまあできた ×できなかった

## 8.地域社会への活動

地元建設業団体等の環境保全活動に参加しました。(令和6年7月22日実施)



会社周辺の美化運動を実施しました。(令和5年4月頃)

地元の方々よりお礼のお言葉を頂きました。今後も、使わせて頂く道をきれいにしていきたいと思っています。



近隣河川の清掃

## 9.環境関連法規への違反・訴訟などの有無

第41期 2023年9月～2024年8月

環境関連法規の遵守状況を2024年8月1日に遵守状況の確認をしたが、今回の結果も違反が無かった。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間無かった。(環境管理責任者)

適用対象	法規名	要求事項・責務	該当資料 保管場所	遵守 状況	
廃棄物処分・ 運搬業者として、 遵守する 法律	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	産廃処理業、収集運搬業許可の更新日・ 変更事項の届け	産廃処理業、収集運搬業の許可証 本社	○	
		排出事業者との産廃委託契約(5年間保 存)	排出事業者別産業廃棄物委託契約書 産廃処理場	○	
		マニフェストの適切な運用・管理(5年間保 存)	排出事業者別マニフェスト保管ファイル 産廃処理場	○	
		排出事業者としての産廃委託契約及びマ ニフェストの適切な運用 (5年間保存)	自社・産業廃棄物管理票ファイル 産廃処理場	○	
	静岡県産業廃棄物条例	廃棄物保管基準、構造管理基準及び維持 管理基準を遵守	産業許可標識の掲示	産廃処理場	○
			産業廃棄物処理維持管理記録簿	産廃処理場	○
			産業廃棄物処理実績報告書	本社	○
			産業廃棄物埋立地調査票	本社	○
土木工事業者 として遵守す る法律	騒音・振動規制法	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関 する届出と規制値の遵守	騒音・振動規制法の届出 本社	○	
	山砂利採取法	山砂利採取に伴う災害防止	「山砂利採取法による帳簿」 山砂利採取場	○	
	特定特殊自動車排出ガスの 規制等に関する法律	排出ガス対策型建設機械としての指定に 関する規定	特定自主検査実施表 本社	○	
	建設リサイクル法	建設廃棄物の分別・再資源化と適正処理	契約書・マニフェストの管理 本社	該当なし	
事業所全般と して、遵守す る法律	浄化槽法	浄化槽の定期点検及び法令検査の実施	「浄化槽法令検査・浄化槽定期検査」 本社・山砂利採取場・産廃処理場	○	
	道路交通法	交通法規の遵守	車検証 本社	○	
	消防法	火災の予防	事務所倉庫の消火器の確認 本社	○	
	家電リサイクル法	家電製品の適正処分	家電メーカーへの引渡し 本社	該当なし	
	牧之原市環境基本条例	廃棄物の減量化と適正な処分	市指定ゴミ袋による分別 本社・山砂利採取場・産廃処理場	○	
	自動車リサイクル法	再資源化預託金の預託義務	リサイクル料金の支払表の確認 本社	該当なし	
	資源有効促進法	OA機器の適切な処分の実施	OA機器の引取表の確認 本社	該当なし	
	フロン排出抑制法	屋外気、配管等の簡易点検の実施	「フロン使用機等の定期点検表」 本社	○	

[2024年8月 実施]

## 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	評価	次年度へ
1 対象範囲	○	維持、継続して活動する
2 環境経営方針	○	環境経営方針を再確認し、環境経営目標を達成するよう努力する
3 環境経営目標及び目標達成状況	○	平均燃費量等向上し、良い点も有り継続して活動する
4 環境経営計画及び取り組み実施状況	○	維持、継続して活動する
5 外部コミュニケーション・対応記録	○	苦情等無く、問題有りませんでした
6 問題点の是正・予防措置の実施状況	○	是正処置報告を確認いたしました
7 地域環境への取組	○	積極的に地域環境活動に参加すること
8 その他( )		

○ 継続    △ 一部見直し    × 全体の見直し

### 全体の評価

社員がシステムの運用について理解をし、環境負荷軽減の意識は深まっている感じます。深刻化する地球温暖化についてみんなで一緒に今、最優先課題として認識をして環境負荷の低減や建設機械の新技术を積極的に採用し、また、環境保全活動へも積極的に参加し、出来ることから着実に進めていきたい思います。

今後も環境経営目標の達成に努力して頂くと同時に、山砂利採取場及び産業廃棄物処理場の維持管理に力を注ぎ、土木工事を通じて地元の方々の要望に応え、地域に貢献できる企業を目指します。魅力ある企業として地元根付いた事業活動を進めて行きたいと考えます。

2024年11月10日

芝田重機株式会社  
代表取締役 芝田高寿